おやこであそぼう

～　絵本と、わらべうたの時間　～

2019年3月20日

☆～　今月の絵本と紙芝居　～☆

コッコさんのともだち（福音館書店）作・絵：かたやまけん
おべんとう（福音館書店）作・絵：小西英子
でんしゃくるかな？（福音館書店）作・絵：きくちちき
ブップ　ブープー（福音館書店）作・絵：笠野裕一
とっとこうれしいな（福音館書店）作：荒川薫／絵：山内彩子
ちょうちょう ひらひら（こぐま社）作：まど・みちお／絵：西巻茅子
いろいろおせわになりました（福音館書店）作・絵：やぎゅうげんいちろう
おひさまぽかぽか（福音館書店）作・絵：笠野裕一
はじめまして（鈴木出版）作：新沢としひこ／絵：大和田美鈴
はじめまして（ブロンズ新社）作・絵：五味太郎
やさいさん／くだものさん（学研）作・絵：ツペラツペラ
もちもち ともだち（童心社）作：すとうあさえ／絵：山口マオ（紙芝居）
まるいものな～んだ（童心社）作・絵：とよだかずひこ（紙芝居）

☆～　今月のうた　～☆

♫山のワルツ

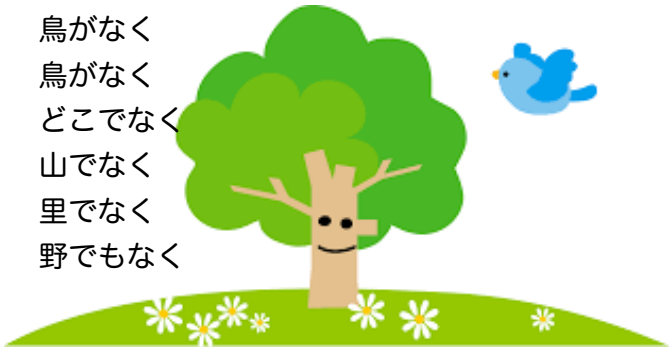
すてきなやまの　ようちえん
８じになると　りすのぼうやが　やってきます
ロンリムリム　ロンラムラム　ロンリムリムロン

すてきなやまの　ようちえん
９じになると　やぎのぼうやが　やってきます
ロンリムリム　ロンラムラム　ロンリムリムロン

すてきなやまの　ようちえん
１０じになると　くまのぼうやが　やってきます
ロンリムリム　ロンラムラム　ロンリムリムロン

♫はるがきた

春がきた　花がさく　鳥がなく
春がきた　花がさく　鳥がなく
どこにきた　どこにさく　どこでなく
山にきた　山にさく　山でなく
里にきた　里にさく　里でなく
野にもきた　野にもさく　野でもなく



☆～　お花見とおだんご　～☆

　桜開花も間近、ハクモクレンも咲き始め、春は本当にそこまで来ているのに、まだ、空気の中に冬の冷たさが残っているのを感じますね。春はお別れと、新しい出会いの季節です。

　絵本のリストにある『いろいろおせわになりました』を、お家で読んでみてください。これは、わらべうたで、旋律も絵本に載っています。

　♫お～ちゃを　の～みに　きてください　はい　こんにちは

と、お茶にお友達をお招きします。

　♫いろいろ　おせわになりました　はい　さようなら

と、お礼を言って、お別れします。

二人で向かい合って、または大勢で向かい合って、さらには輪になって、遊びます。

春の佳き日に、ちょっとお友達をお招きして、お花見しながら、おだんごにお茶など如何ですか？

　お花見だんごというと、薄い桃色、白、緑色の３色ですが、それぞれの色には、菱餅同様、意味があるのだそうです。

「桃色は春、白はなごり雪、緑は新芽」という説、「桃色は桜、白は白酒、緑は蓬」を表すという説もあります。いずれにしても、冬から春への明るさが感じられて、ほっこりしますね。

　1999年に「おかあさんといっしょ」で歌われた「だんご３兄弟」は『醤油が塗られた焼きだんご』で、タンゴのリズムに乗って、３兄弟の関係が、歌われていました。

　一串のだんごの数は４つというのも多く、この歌が流行って、３つにして売り出したお店もあったそうです。

　この「３」という数字、身の回りで多く使われている数字です。「石の上にも三年」「三人寄れば文殊の知恵」と言った諺、エジプトのピラミッドも三角錐、キリスト教では三位一体（父と子と聖霊）、仏教では三宝（仏、法、僧）など。

　そして何よりも「三つ子の魂百まで」は、幼児期の成長の環境作りの大切さを教えてくれる諺です。３歳くらいまでに人格、言語能力が形成されるので、その間のお父さん、お母さんとのコミュニケーションが、とても大事なのだそうです。

　もし、そのコミュニケーションの一つのツールとして、絵本が役立ってくれれば、嬉しいです。

次回は　2019年 4月17日（水）

お問い合わせ　クリスト・ロア修道院
TEL０４２（４６５）８６２０